

いまだ聞けない



いまだ聞きたい

このコーナーでは読者の皆さんのインターネットに関する疑問や質問にお答えします。「？」と感じたことはどのようなことでも構いませんので、下記のメールアドレスまでご質問ください。なお、ご質問へのメールでの回答はできませんのでご了承ください。
ご質問はこちらまで
im-faq@impress.co.jp

今月のポイント

- 1 メールの同時送信数には制限があるのか
- 2 リンク元のURLを通知する「REFERER」とは何か



「To:」「Cc:」「Bcc:」でメールを送る時、同時に何人まで指定できるのでしょうか？(宮城県 野口さん)



一般的に、メールの同時送信数には制限はないようです。はっきり「ない」と断言できないのには理由があります。インターネット技術標準の基となるRFC(Request for Comments)という文書には、メールサーバーおよびメールクライアントのどちらにも同時送信数制限について明文化されていないのです。

RFC 788では、「受取人は100件までバッファされるべき」とし、「制限を課さない技術を使用するべき」としています。つまり、「最低100件は受け入れなさいよ」「制限をしないことを推奨しますよ」という表現がされているに留まっているのです。このような曖昧な表現ながら制限を課さないことを推奨しているので、実質的には上限を設けていないと考えてよいでしょう。

実際、メールクライアントソフトのメーカーに問い合わせたところ、メールクライアント側では特に制限は設けていない

ようです(マイクロソフトのアウトルックのみ「To:」「Cc:」「Bcc:」欄に書ける文字の合計が32KBの制限があるとの回答を得ました)。

また、主要インターネットサービスプロバイダー数社に問い合わせたところ、メール送信サーバー側でも特に制限を設けていないということでした。ただし、送信メールサイズそのものに上限を設定している場合、メールヘッダー(宛先や送信

日時、利用メールソフト、送信元のIPアドレスやドメイン等の情報)も含めてサイズの上限を設定しているため、同時送信の宛先が増えるとその分がヘッダーとしてメールサイズに含まれてしまいます。また、昨今では迷惑メールが社会問題化しているため、迷惑メールの発信源と見なされるような利用方法を繰り返した場合、該当アカウントの利用停止もありうるので注意をしてください。(ライター・佐治輝幸)

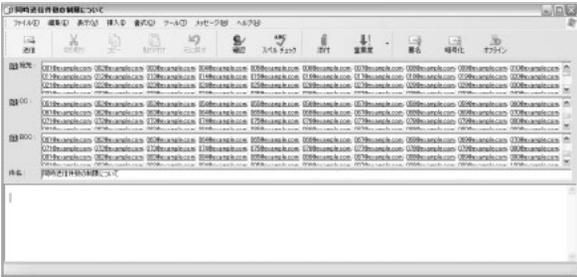


図1 メールソフトによっては宛先欄などに制限あり

メールの同時送信数には実質上制限なし
迷惑メール防止対策上の同時送信数の制限はあり



Q

どこからもリンクを張られていない秘密のBBS(電子掲示板)を作ったのですが、しばらくするとそのURLが知られていました。誰にも教えていないのにどうしてわかったのでしょうか。(福岡県 平野さん)

A

ウェブブラウザを使ってどこかのサイトのホームページを見に行く際には、ブラウザとサーバーの間では、リンク先をクリックするたびに、ブラウザの種類やバージョン、ブラウザのサポートする言語、接続元のIPアドレスなど、さまざまな情報がやりとりされています。これは、HTTP要求ヘッダー(HyperText Transfer Protocol request header)と呼ばれます。

そのヘッダーの中に「参照元」の情報を示す「REFERER」という指定された領域があります。リンクをたどる時に、「あなたのページをリクエストする前はどのURLを見ていました」ということをクライアント(ブラウザ)からサーバーに伝える役割をします。ブラウザはこのREFERERを使って、リンク先のサーバーに対してリンク元のURLを通知します。REFERERはリ

ンクをたどる時にのみ出力されるため、REFERERの値を観察することによって、閲覧者がどのサイトのリンクをたどってきたのかという情報を知ることができます。

REFERERとは、本来「照会する」という意味の「refer」の名詞形なのです。正しい表記は「REFERRER」ですが、間違った綴りの「REFERER」のまま広まっています。

さて、ご質問のケースでは、次のようなことが考えられます。

秘密にしていたBBSに、その秘密BBSの閲覧者(閲覧者A)が他サイトのアドレスを書き込み、さらにそのアドレスを見た閲覧者B(秘密BBSのURLを知っている人物)が、書き込まれたアドレスをクリックして他サイトを訪れます。この際、閲覧者Bのブラウザから訪問先サイトのサーバーにREFERER(リンク元)として秘密の

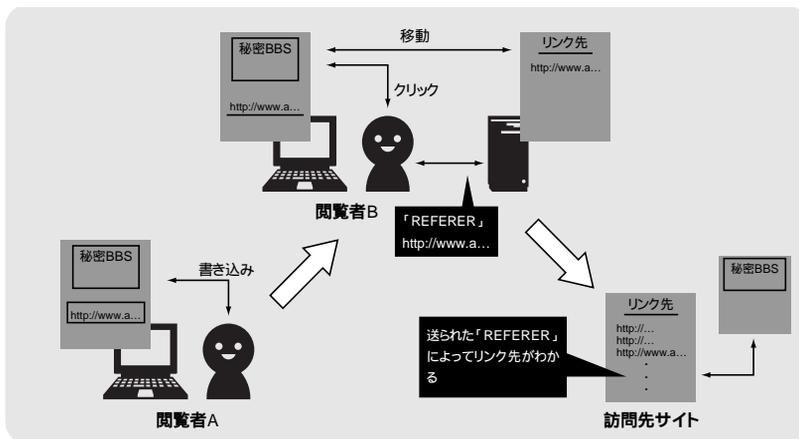
BBSのURLが送られます。

秘密にしていたはずのBBSが訪問先サイトの管理者に知られてしまったのは、このような仕組みによると推測できます(図1)。

REFERERを知るにはアクセスログを調べる方法が一般的ですが、BBSやWeblogに標準でリンク元を表示する機能が搭載されているものもあります。このような機能を持つサイトにリンクしてしまい、そのリンクをたどってリンク元を表示するサイトを訪問してしまうと、リンク元となったサイトも一般公開されているのと同じ状態であると言えます(図2)。

どうしても秘密にしたいページは、パスワードによるアクセス制限を掛けるなどして、無関係な閲覧者の訪問を防いほうがよいでしょう。

(ライター・佐治輝幸)



```

本日のリンク元
● 28 http://d7w.critical.ne.jp/cgi-bin/mt/mt.cgi?mod...
● 27 http://www.ceres.dti.ne.jp/~tamao/link.html
● 13 http://www108.sakura.ne.jp/~sasa_i_ya/bdiary/
● 3 http://www.ceres.dti.ne.jp/~tamao/
● 3 http://www.critical.ne.jp/~20031121.html
● 3 http://www.sasa.com/roblog/
● 2 http://www.sasa.com/cgi-bin/blogs/mt-tb.cgi?_mod...
● 1 http://www108.sakura.ne.jp/~sasa_i_ya/diary/20030621.html
● 1 http://www108.sakura.ne.jp/~sasa_i_ya/diary/20031122.html
● 1 http://www108.sakura.ne.jp/~sasa_i_ya/diary/20031121.html
● 1 http://www108.sakura.ne.jp/~sasa_i_ya/diary/20031030.html
● 1 http://www108.sakura.ne.jp/~sasa_i_ya/cgi-bin/mt/mt...
● 1 http://www.biglobe.ne.jp/ks.php3?pref=&lim...
● 1 http://jbs.shitaraba.com/bbs/read.cgi/...
● 1 http://www.critical.ne.jp/cgi/

```

図2 リンク元の一覧が表示されている様子 [協力: Mamoru Chiba's Homepage http://www.hmx-12.net/tuxedo/]

図1 「REFERER」の仕組み



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp